

報告書作成にあたって



「生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」
このスローガンをかかげて「新座母親大会」も 44 回開催してきました。
お隣の朝霞市との合同開催から新座市が独立して、早や 44 年が経過したこととなります。

その間、第 1 回目から市内各小学校（少数ですが中学校も）での開催を
学校長に申し入れ、その都度快諾していただきました。でも今では、公民館しか借りられず、この 10 年間は野火止公民館となっています。

子どもや女性に多くの悩みがあり、これを交流する要求がある限り、母親運動が消えることは無いでしょう。

母親運動のスローガンには、1954 年にアメリカがビキニ環礁などで強行した核実験に反対して、世界的にわきあがった母親たちの平和への願いが込められています。

いま、平和・地球環境・貧困・人権などが深刻な問題となり、人類が生存しつづけられるか、などと言われるようになっていきます。

新座市内のこの 40 数年を見ても、人口増加に伴い、インフラの整備、教育、福祉などの要求は、まさに母親運動の要求となり、各分野の地道な活動が連携して発展してきました。でも、新たな問題が国の政策と一体になって起きています。

女性が結婚しているかどうかに関わらず、仕事・家庭・育児で生きやすく、また個人として大切にされているかが、いま、ジェンダー平等のさまざまな運動とつながっています。

私達は、引きつづき「新座母親大会」を開催し、スローガンをさらに実現するよう努力していきましょう。